



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会社名 夢 展 望 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 岡 隆 宏  
 (コード：3185 東証マザーズ)  
 問合せ先 専務取締役管理本部長 田中 啓晴  
 (TEL. 072-761-9293)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異、  
 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	1,424 百万円	△114 百万円	△125 百万円	△126 百万円	△23 円 81 銭
当 期 実 績 ( B )	1,341 百万円	△179 百万円	△175 百万円	△176 百万円	△33 円 24 銭
増 減 額 ( B - A )	△83 百万円	△65 百万円	△50 百万円	△50 百万円	—
増 減 率 ( % )	△5.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期連結実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	1,983 百万円	△78 百万円	△88 百万円	△109 百万円	△20 円 71 銭

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	3,797 百万円	26 百万円	4 百万円	0 百万円	0 円 04 銭
今 回 修 正 予 想 ( B )	3,124 百万円	△160 百万円	△161 百万円	△164 百万円	△30 円 89 銭
増 減 額 ( B - A )	△674 百万円	△187 百万円	△165 百万円	△164 百万円	—
増 減 率 ( % )	△17.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	3,669 百万円	△324 百万円	△348 百万円	△548 百万円	△103 円 41 銭

### 3. 差異及び修正の理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間につきましては、衣料品販売事業及び卸売事業において、売上高総額は当初の想定通りの金額で推移したものの、自社サイトでの売上については伸び悩む結果となり、その一方で一般顧客の多いモール系店舗（楽天市場、ZOZO TOWN、SHOP LIST 等）での売上は順調に推移いたしました。その結果、自社サイトに比べ収益性が劣るモール系店舗での売上が伸びたことにより、インターネット店舗関連コストが増加し、当初想定しておりました販売費及び一般管理費を超過することとなり、利益面において想定を下回る結果となりました。また玩具・雑貨販売事業においては、従来の取引先からの安定した受注はあるものの、取引先の商品開発等の進捗の変化により、当初想定しておりました受注が伸び悩んだことにより、売上高が想定を下回る結果となりました。

これにより、前回公表（平成 28 年 5 月 13 日）の業績予想と実績値に差異が発生いたしました。

平成 29 年 3 月期通期につきましては、衣料品販売事業及び卸売事業において、リブランディングを進めている最中であり、第 2 四半期連結累計期間の状況も鑑みて、当面は自社サイトよりもモール系店舗の売上高の伸びを想定しており、最終的にはお客様を自社サイトに誘導する方針ではあるものの、当初計画よりもモール系店舗の売上比率が高まっており、現状の売上構成比の推移は継続すると想定しております。しかしながら、直近 10 月度単月の当社単体の実績値においては、黒字への転換を果たしており、リブランディングの成果の兆しは、徐々にではあるものの現れてきております。この回復基調を継続させ更なる向上を目指して参る所存であります。

また玩具・雑貨販売事業においては、第 2 四半期連結累計期間に引き続き、取引先の新規開発案件の受注が当初想定しておりました受注に至る事は困難であると考えており、当初の売上計画を大幅に見直しております。これに合わせて販売費及び一般管理費も見直し、利益の減少幅を極力抑えることとしております。

以上により、前回公表の通期業績予想を修正するものであります。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以 上